

AKAI[®]
PROFESSIONAL

MPC ONE

クイックスタートガイド

付録

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほか棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるといった場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] akai-pro.jp

[サポート] [akai-pro.jp /support](http://akai-pro.jp/support)

クイックスタートガイド

はじめに

特徴：

- ・ コンピューター不要のスタンドアロン動作
- ・ 7インチ (177mm) フルカラー・マルチタッチディスプレイ
- ・ MPCソフトウェアのコントローラーとして動作
- ・ MIDI入出力
- ・ 2GB ユーザーストレージ / 2GB プリインストール・コンテンツ
- ・ 2GB RAM
- ・ フルサイズSDカードスロット
- ・ USBメモリーおよびMIDIコントローラー用USB-A 2.0端子

同梱物

MPC One	ソフトウェアダウンロード ・ カード (英文)
電源アダプター	クイックスタートガイド/ 保証書
USB ケーブル	保証書

重要： akai-pro.jp にアクセスし、MPC One の Web ページでユーザーガイドをダウンロードしてください。

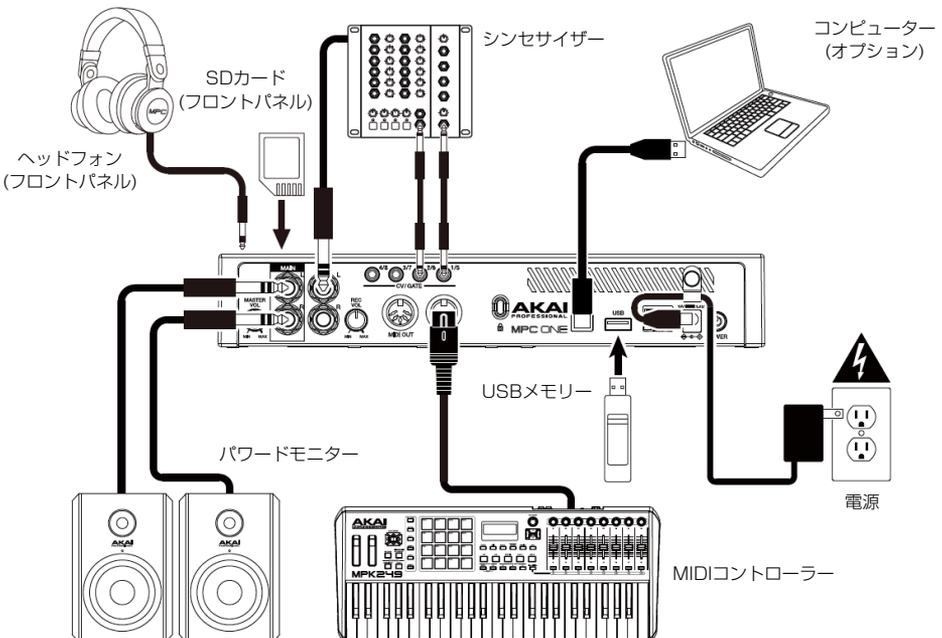
サポート

この製品に関する最新情報 (ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など) については、akai-pro.jp をご覧ください。

追加の製品サポートについては、akai-pro.jp/support をご覧ください。

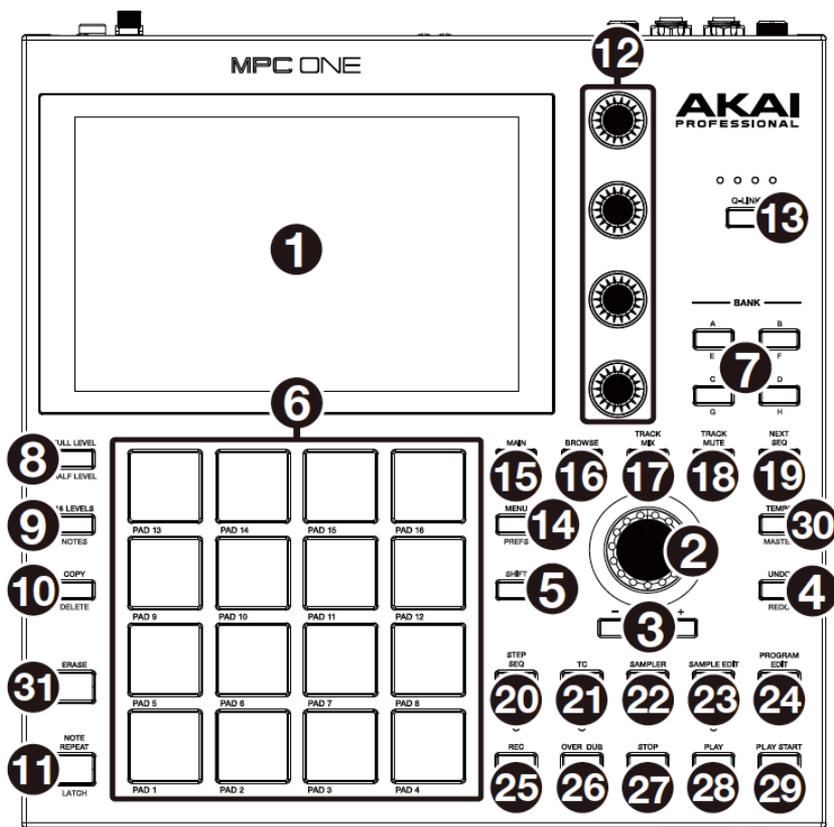
接続図

はじめに > 同梱物に記載されていない項目は別売となります。



特徴

トップパネル



ナビゲーションとデータ入力関係

1. **ディスプレイ**：フルカラー・マルチタッチディスプレイは、MPC Oneの現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイに触れて（ハードウェア・コントロールを使用して）MPC インターフェイスをコントロールします。いくつかの基本的な機能を使用する方法については、**操作**を参照してください。

重要：ご使用の際はタッチスクリーンの保護フィルムを取り外してください。

2. **データダイヤル**：このダイヤルを回すと、利用可能なメニューオプションをスクロール、またはディスプレイ内の選択したフィールドのパラメーター値を調整できます。ダイヤルを押すことによりENTERボタンと同様の動きをします。
3. **-/+**：ディスプレイで選択したフィールドの値を増減します。
4. **UNDO/REDO**：最後の操作が取り消されます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、元に戻した最後の操作がやり直されます。
5. **SHIFT**：このボタンを押しながらいくつかのボタンを押すと、2次機能（赤文字で表示）にアクセスします。

パッド及びQ-Link関係

6. **PAD** : これらのパッドを押して、ソフトウェアのドラムヒットやその他のサンプルをトリガーします。パッドはベロシティー感知、および感圧性であり、演奏に対して即座に反応するため直感的な演奏が行えます。パッドは、演奏する強さに応じて、さまざまな色に点灯します（低ベロシティー時の黄色から高ベロシティー時の赤まで）。また、点灯する色はカスタマイズすることもできます。
7. **PAD BANK ボタン (BANK)** : パッドバンクA - Dにアクセスします。**SHIFT**キーを押しながらこれらのボタンを押すか、ボタンの2度押しでパッドバンクE - Hにアクセスできます。
8. **FULL LEVEL / HALF LEVEL** : フルレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、演奏する強さに関わらずパッドは常に最大ベロシティー (127) でサンプルをトリガーします。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、ハーフレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、パッドは常にサンプルを半分のベロシティー (64) でトリガーします。
9. **16 LEVEL / NOTES** : 16 レベル機能を有効/無効化します。有効時には、最後にヒットしたパッドが16個のパッドに一時的にコピーされます。パッドは元のパッドと同じサンプルを再生しますが、使用する力の大きさにかかわらず、パッド番号順にパラメーターの値が増加します。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、Notesモードが有効/無効化されます。有効にすると、どのモードでもパッドで音階/モード、コード、プログレッションを演奏できます。パッドパフォーマンスモード (Pad Perform Mode) でパッドの設定をおこないます。
10. **COPY/DELETE** : あるパッドを別のパッドにコピーします。**From Pad**フィールドを選択し、[ソースパッド] (コピーしたいパッド) を押します。**To Pad**グラフィック(すべてのパッド) を選択し、[コピー先]のパッドを押します。コピー先は複数のパッドや異なるパッドバンクのパッドを選択することもできます。続行するには**Do It**を、前の画面に戻るには**Cancel**をタップします。
SHIFTキーを押しながらこのボタンを押すと、削除されます。
11. **NOTE REPEAT/LATCH** : このボタンを押しながらパッドを押すと、パッドのサンプルが繰り返しトリガーされます。繰り返される速度は現在のテンポと時間補正の設定に基づいています。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、ノートリピート機能が「ラッチ」されます。ラッチ時には、Note Repeatボタンを押し続ける必要はありません。もう一度**Note Repeat**を押して、アンラッチします。
12. **Q-Linkノブ** : これらのタッチセンサー式ノブを回して、さまざまなパラメーターや設定を調整します。ノブは、一度に 1 つのパラメーターの列を制御できます。Q-Linkノブの上にあるライトは現在選択されている列を示します。**Q-Link**ボタンを押して、現在制御しているパラメーターの列を変更します。
13. **Q-Linkボタン** : **Q-Linkノブ**が現在コントロールしているパラメーターの列を変更します (Q-Link ノブの上のライトで示されます)。ボタンを押すたびに次の列が選択されます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、前の列が選択されます。

モード及びビュー関係

14. **MENU/PREFS** : モードメニュー (Mode Menu) が開きます。メニュー (Menu) 画面でオプションをタップしてモードに入ったり表示したりすることができます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、MenuのPreferencesページが開きます。
15. **MAIN/GRID** : メインモード (Main Mode) に入ります。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、グリッドビューモード (Grid View Mode) に入ります。
16. **BROWSE / SAVE** : ブラウザー (Browser) を表示します。ブラウザーでプログラム、サンプル、シーケンスなどをロケート、選択することができます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すとサンプル、プログラム、シーケンス、ソングを含む現在のプロジェクトを保存します。
17. **TRACK MIX / PAD MIX** : トラックミキサー (Track Mixer)を表示します。トラック、プログラム、リターン、サブミックス、マスター用のレベル、ステレオパンなどの設定が可能です。
SHIFTを押したままこのボタンを押すと、パッドミキサー (Pad Mixer) が表示され、プログラムのレベル、ステレオパン、ルーティング、およびエフェクトを設定できます。

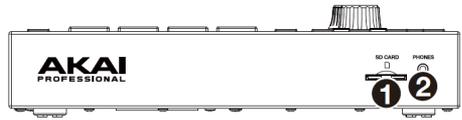
- 18. TRACK MUTE / PAD MUTE** :トラックミュートモード (Track Mute Mode)を表示します。シーケンス内のトラックをミュートしたり、各トラックのミュートグループを設定します。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、パッドミュートモード (Pad Mute Mode)が表示され、プログラム内のパッドをミュートしたり、プログラム内の各パッドにミュートグループを設定できます。
- 19. NEXT SEQ / XYFX** :パッドで異なるシーケンスをトリガーするネクストシーケンスモード (Next Sequence Mode) を表示します。ライブパフォーマンスに役立つ、曲をリアルタイムで構成できる機能です。
SHIFTキーを押しながらこのボタンを押すと、XYFXモード (XYFX Mode) が表示されます。これによりタッチスクリーンをXYパッドとして使用できます。各軸はエフェクトパラメーターのレンジを表します。タッチスクリーン上の指の位置で2つのパラメーターの値が決まります。このモードでトラックにかけるエフェクトのオートメーションを作成できます。
- 20. STEP SEQ / AUTOMATION** :ステップシーケンサーモード (Step Sequencer Mode) を表示します。パッドを[ステップボタン]に見立てて、従来のステップシーケンサースタイルのドラムマシンをシミュレートした形でシーケンスの作成/編集ができます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、グリッドビューモード (Grid View Mode) が開きます。現在のトラックで最後に使用したオートメーションのパラメーターを表示します。
- 21. TC / ON/OFF** :タイミング修正 (Timing Correct) ウィンドウが開きます。このウィンドウにはシーケンス内イベントのクオンタイズに関連する様々な設定が含まれています。
SHIFTキーを押しながらこのボタンを押すと、Timing Correct (タイミング補正) のオンとオフが切り替わります。
- 22. SAMPLER / LOOPER** :プロジェクトで使用するオーディオサンプルを録音するサンプラーを表示します。
SHIFTキーを押しながらこのボタンを押すとルーパー (Looper) が表示されます。リアルタイムでのオーディオ録音及びオーバーダブをおこないます。ライブパフォーマンスやスタジオで最適なツールです。プロジェクトで使用するサンプルとしてループをエクスポートできます。
- 23. SAMPLE EDIT / Q-Link EDIT** :サンプル編集モード (Sample Edit Mode) を表示します。さまざまな機能と処理が使用できます。
SHIFTキーを押しながらこのボタンを押すと、Q-Link編集モード (Q-Link Edit Mode) が表示され、Q-Linkノブにパラメーターを割り当てることができます。
- 24. PROGRAM EDIT / MIDI CONTROL** :プログラム編集モード (Program Edit Mode) を表示します。プログラム編集用のパラメーターすべてを含むモードです。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、MIDIコントロールモード (MIDI Control Mode) が表示され、ハードウェアから送信されるMIDIメッセージのカスタマイズができます。

トランスポート及びレコーディングコントロール関係

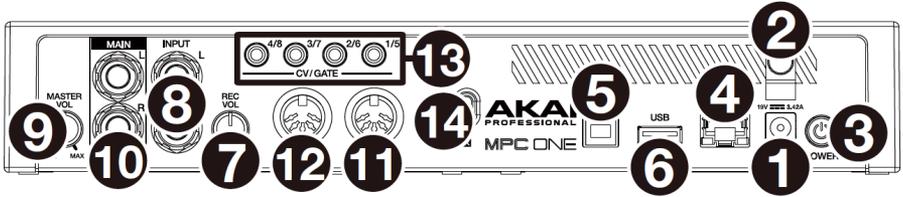
- 25. REC** :シーケンスの録音準備をします。PlayまたはPlay Startを押して録音を開始します。オーバーダブ (Overdub) ではなくこの方法で録音すると、現在のシーケンスのイベントは消去されます。録音中にシーケンスが一度再生されると、オーバーダビングが有効になります。
- 26. OVERDUB** :オーバーダブを有効にします。以前の記録に上書きすることなく、イベントをシーケンスに記録できます。オーバーダブは、録音の前でも途中でも有効にすることができます。
- 27. STOP** :再生を停止します。2度押しでノートの再生停止後に、鳴り終わっていないオーディオを止めることができます。SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、再生ヘッドが1:1:0に戻ります。
- 28. PLAY** :再生ヘッドの現在の位置からシーケンスが再生されます。
- 29. PLAY START** :シーケンスが開始点から再生されます。
- 30. TAP TEMPO** :希望のテンポに合わせてこのボタンを押すことで、ソフトウェアに新しいテンポ (BPM) を入力することができます。
SHIFTキーを押したままこのボタンを押すと、現在選択されているシーケンスがそのシーケンスのテンポに従うか (ボタンが黄色に点灯)、マスターテンポに従うか (ボタンが赤色に点灯) の設定ができます。
- 31. ERASE** :シーケンスが再生されているときにこのボタンを押したままパッドを押すと、現在の再生位置のパッドのノートイベントが削除されます。これにより再生を停止することなくシーケンスからノートイベントを簡単に削除できます。再生停止中このボタンを押すと、ノート、オートメーション、その他のシーケンスデータをシーケンスから消去できるEraseウィンドウが開きます。詳細については、ユーザーガイドをダウンロードしてご参照ください。

フロントパネル

1. **SD カードスロット**：標準のSDまたはSDHC/SDXCカードをこのスロットに挿入すると、MPC Oneで直接ファイルにアクセスできます。
2. **PHONES (1/8インチ/3.5mm)**：標準の1/8インチ (3.5mm) ステレオヘッドフォンをこの出力に接続します。



リアパネル



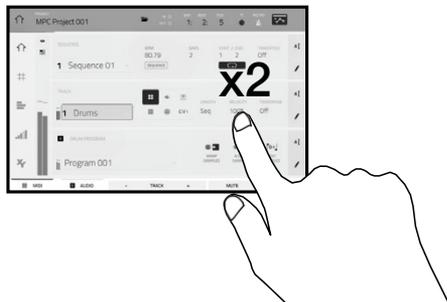
1. **電源入力**：付属の電源アダプターを使用し、MPC Oneを電源コンセントに接続します。
2. **コードフック**：誤って引っ張ったときにプラグが抜けないよう電源アダプターのコードを固定します。
3. **電源スイッチ**：MPC Oneの電源をオンまたはオフにします。
4. **LINK**：Ableton Linkを使用する際に、このポートに標準のイーサネットケーブルで接続します。詳細については、ユーザーガイドをダウンロードしてご参照ください。
5. **USB - Bポート**：付属のUSB ケーブルでMPC Oneとコンピューターを接続します。ポートに接続します。この接続により、MPC Oneとコンピューター上のMPCソフトウェア間でMIDI/オーディオデータを送受信できます。
6. **USB - Aポート**：USBメモリーを接続します。MPC Oneから直接アクセス可能です。このポートに標準MIDIコントローラーを接続することもできます。
7. **REC VOL**：入力の音量を調節します。
8. **INPUT (1/4インチ/6.35mm)**：標準の1/4 インチ (6.35mm) TRSケーブルでオーディオソース（マイク、ミキサー、シンセサイザーなど）と接続します。サンプル録音モードでステレオで録音するか、モノラルで録音するかを選択できます。
9. **MASTER VOL**：出力とヘッドフォン出力の音量を調節します。
10. **OUTPUT (1/4インチ/6.35mm)**：標準の1/4 インチ (6.35mm) TRSケーブルでモニター、ミキサーなどに接続します。
11. **MIDI IN**：標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部MIDI機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI出力と接続します。
12. **MIDI OUT**：標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部MIDI機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI入力に接続します。
13. **CV / Gate**：外部シーケンサーにCV及びゲート信号を送信します。標準の1/8インチ (3.5mm) TSケーブルを使用して単一のCV / ゲート信号を出力ごとに送信するか、ステレオTRS - デュアルモノTSFブレイクアウトケーブル（Hosa YMM-261など）を使用して、2つのCV / ゲート信号を出力ごとに送信します。
14. **ケンジントン® ロック スロット**：MPC Oneをテーブルなどに固定することができます。

操作

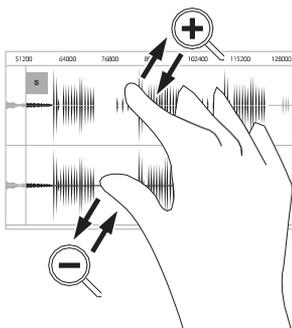
ここではMPC Oneのディスプレイの基本的な使用方法について紹介します。



ボタンまたはオプションをタップして選択します。
データダイヤルもしくは-/+ボタンで設定や値を変更します。



ボタンをダブルタップし、高度な編集オプションにアクセスします。数値入力用のテンキーパッドが表示される場合もあります (データダイヤルまたは-/+ボタンの代わりとして)。ディスプレイの左上部分をタップすると、前の画面に戻ります。



2本の指を広げて拡大します (例: 波形の一部分など)。2本の指をせばめて縮小します。



ディスプレイの上端には、現在のビューに関する情報 (現在のトラック名、シーケンス、オーディオインターの位置など) を含むツールバーが表示されます。項目をタップして選択します。

ディスプレイ下部には、現在のビューで使用できるさまざまなボタンが表示されます。ボタンをタップして押します。

前のビューに戻るには、現在表示されているウィンドウの外側をタップするか、ディスプレイの左上部分で左矢印 (←) をタップします。

付録

技術仕様

パッド	(16) ペロシティ、感圧式パッド、RGB バックライト (8)バンクアクセス可能 (PAD BANK経由)
ノブ	(4) 360度タッチセンシティブ Q-Link ノブ (4) Q-Linkボタンで列アクセス可能な Q-Link ノブ (1) 360度ディスプレイ・ナビゲーション用、プッシュ選択機能付きエンコーダー
ボタン	(31)専用機能ボタン; 赤、 オレンジ、 または緑色バックライト
ディスプレイ	7.0インチ / 177 mm (対角) 5.9インチ x 3.7インチ / 151 x 94 mm (幅 x 高さ) タッチ・インターフェイス付き フルカラー LED バックライト付ディスプレイ
CPU	プロセッサ：Quad-core ARM® プロセッサー RAM：2GB ストレージ：2GB (ユーザーストレージ、2GB (プリインストール・コンテンツ))
端子	(2) 1/4インチ (6.35 mm) TRS 入力 (1ステレオペア) (2) 1/4インチ (6.35 mm) TRS出力 (1ステレオペア) 1/8インチ(3.5 mm) ステレオヘッドフォン出力 (1) 5 ピン MIDI 入力 (1) 5 ピン MIDI 出力 (4) CV/Gate出力 (1) USB Type-A ポート (1) USB Type-B ポート (1) SD カードスロット (1)電源アダプター入力
電源	電源アダプター経由：19 V、33.42、センタープラス (付属)
サイズ (W x D x H)	272 x 272 x 53 mm
重量	2.1 kg

仕様は予告なしに変更されることがあります。

商標とライセンス

Akai Professional および MPC は、inMusic Brands, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。and other countries. ARMは、ARM Limited (またはその子会社) の EU またはその他の国における登録商標です。All rights reserved. SD および SDHC は、SD-3C、LLC の登録商標です。他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものであります。

Memo

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は、本保証の対象外となります。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポート へご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ：inmusicbrands.jp/support/

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。